



対談

『SDGs と同友会活動』

【出席】 (有)松倉製作所／代表取締役
井本 康裕氏
(副代表理事／高松第8支部)

【司会】 (有)スエザワ／代表取締役社長
末澤 一晃氏
(広報・情報化委員会／高松第5支部)

SDGsは国連が定めた世界を変えるための17の目標

末澤 早速ですが、SDGsについておそらく知らない方が結構いるのではないかと思いますので、少し説明していただけますか。

井本 2015年9月に国連で、持続可能な開発のための2030年に向けた15年ビジョンが採択されました。

そのための具体的な17の目標を定めたものが、SDGs (Sustainable Development Goals)で、「持続可能な開発目標」と訳されています。ただその前に、2015年までの15年間に取り組んだMDGsというのがあります。頭文字がSではなくM (Millennium)で世紀を跨いだときに決めたもので、貧困ゼロや飢餓をなくそうなど、どちらかというと開発途上国の支援を皆でやっていきましたという色合いが濃いものでした。

国連としてはこの取組みの成果がある程度あったと評価し、次の15年については、もっと幅広く地球全体に広げ

ていくことにしたわけですが、ただしこれまで続けてきた途

上国支援への取組みは当然今まで通りとし、それ以外に先進国も共通の課題の地球環境保護、ジェンダーフリーや皆がより良く働ける社会づくり、製造物責任等々、いろんな目標が掲げられており、「誰ひとり取り残さない」のスローガンのもと、地球上の全ての人々はもちろん、企業も行政も対象になる取組みです。

末澤 そうすると、我々同友会との関わりはどういうものになりますか？

井本 SDGsの考え方に初めて触れたとき、同友会の考え方に非常に近いものがあると思ったのですが、それからあまり日が経たぬうちに中同協でもSDGsが話題になり始めたので、やはり取り組むのだなと思いました。

SDGsの考え方ですが、これは同友会がやっている指針書経営の中で、理念を設定し、経営者と社員が協力してその実践を目指しますが、同友会の経営の根幹は『人を生

かす経営』です。労使見解の中でも「社員はパートナーです」と高らかに宣言しています。経営者も社員も共に手を携えて、より良い会社や地域の姿を目指し、互いにやりがいや目的意識を共有しながら、人間らしい働き方を実現していくという考え方は、SDGsの8番(3ページ図1参照)の「働きがいも経済成長も」に該当するのではないかと思っています。

それから、やはり『人を生かす経営』です。同友会ではずいぶん前から働く環境づくりに取り組んできました。経営労働委員会を中心の取組みですが、中同協を中心に各県の同友会でも取り組んできたものです。

5番(3ページ図1参照)の「ジェンダー平等を実現しよう」ですが、ジェンダーフリーにはいろんな意味があります。同友会的なところというと、女性が活躍できる社会づくりです。香川同友会の女性委員会はとても活発な活動をしています。元氣な

女性経営者の皆さんが、ときには男性会員を巻き込んだりしながら、女性が活躍できる企業環境を実現しているような職場の状況について学んだり、あるいは女性経営者の経営実践などを学んでおり、かつては女性起業塾などもやっています。

もう一つは環境問題があります。同友会には環境経営委員会があり、そこではずいぶん前からエネルギーシフトの問題などを勉強してきました。今年3月に四国中央市で同友会の四国ブロックの環境の勉強会が開催されましたが、そこでは環境に配慮した事業展開の事例発表もありました。

以上のように、同友会としては既に様々な取組みを進めているので、SDGsと同友会の活動が重なる部分が結構あります。同友会の会員さんは、同友会でのいろんな学びを自社経営に取り入れている



ので、実際のところSDGsの17の目標の中の2点や3点は既

に実践しているものではないかと思えます。

ですから、まず自社の1日、あるいは1年を通じてやっていることを整理すれば、自社の事業や営みとSDGsの17の目標でやっていることの紐付けができるのではないかと思えます。それが一番最初にやることではないかと思えます。

末澤 ありがとうございます。同友会活動をすることによって、必然的にSDGsのビジョンに沿ってきているということがわかりました。

まずは紐付けし、ビジネスに繋げることを考える

末澤 おそらく同友会活動以外の部分でもいろんなところがあると思いますが、それらに関しては各社の事業内容で対処すればいいのですか？

井本 まず第一に、自分たちがやっている事業が、国連の目標と合致するぐらい価値のあることだと気づくことが一番ではないかと思えます。それに気づけば、そこから先は胸を

世界を変えるための17の目標

【図1】



【SDGs(持続可能な開発目標)とは】

貧困のない、持続可能な世界を次世代に受け継いでいくことを目指して国連が定めた目標(193か国で採択)
我々の世界を変革する持続可能な開発のための2030アジェンダ

【スローガン】

- 誰ひとり取り残さない
- 一番取り残されている人々を最優先に
- 三側面が調和され統合されている

【3つのポイント】

- ①「つづかない」世界を「つづく」世界に「変革」するための目標
- ②「貧困のない」「持続可能な」世界を目指した目標
- ③日本を含む先進国も対象となっている目標

張ってその事業に取り組んでいけばいいように思えます。第二に、さらにそれを自社事業の収益に結びつけることです。今まで漫然とやっていたことに価値があること、世の中に必要とされている事業であることが認識できれば、その部分を自分たちも多少利益を頂きながら、世の中にもっといいものを提供できるようなビジネス化、ビジネスモデルをつくっていきます。

このようにして、自社の事業を定着させれば本場のSDGsの取組みとして持続させることができますし、またそれが持続可能な未来をつくることに繋がるはずなんです。

一番目は、今やっていることをそのまま続けながら、それに紐付けして意義を確認すること。二番目は、それをさらに持続させ、利益を生み続けるようなビジネスモデルにしていくことです。そして三番目は、自社のイメージアッパに繋げることで事業推進の追い風にしていく。今世界中でSDGsに対する関心が非常

に高まっています。SDGsの企業の取り組みを就職の際の企業選びの一つの目安にしている学生さんが急速に増えています。更には、SDGsも含めた社会的な課題に取り組んでいる企業に優先的に投資や融資をしよう(ESG投資)という動きも出てきています。

また、企業が調達先を選ぶ際、SDGsをやっているところから優先的に選ぶという実例が既にあります。あるいは、環境に配慮した製品が売れる時代が来ていることを含めて、企業としてやっていく意味は十分あると思います。

末澤 新卒採用や投資や融資などにSDGsが関わってくるとなると、真剣に学ばなければならぬものではないかかと思えますね。

井本 そうですよ。自分たちの経営の未来にも大きく繋がっていくことも十分あると思います。

末澤 中同協とはどんな形で関わりがありますか。

井本 中同協の議案書にSDGsの言葉が初めて登場し



その前の正副代表理事会に持ち込んだのが最初で、同月に開催された理事会で取組みの呼びかけをさせてもらったのですが、私がそんな形で話をする前から、既にSDGのことを知っている人も結構いましたし、実際に取組みをしているという話を耳にすることもありました。

地球上のすべての人々、すべての企業が、自分たちに取り組みをすることを全員で取り組みましょう

末澤 経営指針を創る会も、SDGsを基にした指針書づくりも考えられます。

井本 指針書づくりに組み入れてもらうには非常にいい考えだと思います。これを基にしてプログラムを新しくするというのではなく、今の指針書づくりの中で、これを意識すればいいのではないかなと思います。

すべてにおいてそうですが、何か新しいことをするとすると、何かと億劫なものがあります。SDGsに関して

は、新しい取組みはそんなに必要ではありません。繰り返す必要がありますが、今までやってきたことをこれに紐付けるだけです。そこから先は、本当に自分のところのできるのか、自分のところの収益に繋がるのか、自分のところの発展に繋がるのか。少なからず迷いや疑問はあるかも知れませんが、やってみようという思いがあれば取り組んで頂けるのではないのでしょうか。

17のすべてのゴールを目指すとなるとつもない話なので、自分のところはこれとこれはできていますで十分なのです。だから、全員が取り組めるわけです。力のある人だけが全部に取り組んで、それで世の中を変えるものではないと思います。地球上のすべての人々、すべての企業が、自分たちができることを全員で取り組ましましょうというのが、一番重要な考え方です。「うちもやりますよ」と、手を挙げて言ってくれる人が増えれば増えるほど、興味のなかつた人たちでも見たり触れ

たりする機会が増えることになるので、それはとても嬉しいことです。

末澤 SDGsについては正直詳しいことは知りませんが、井本さんのお話を伺って、とても大切なことだと気づかされました。また、かなり浸透しているということ、新卒の採用にまで影響を与えていることを聞かされ、びっくりしました。今後、同友会を含め、取り組んでいかなければならないことだと強く感じました。本日は貴重なお話しをありがとうございました。



たのが、昨年の定時総会で。議案書の重点方針の第2章の情勢分析の中で、SDGsが世の中で言われてはじめていることが書かれています。その後、全研や定時総会で、SDGsの分科会ができています。中同協の大きな行事の中でSDGsの分科会は今後も続いていくのではないかと思います。

末澤 お話しが少々後先になります。香川同友会での経緯は？

井本 2018年10月の理事会で、SDGsの取組みをという話をさせてもらいました。